

# 2022年11月 高松市中央図書館報

Newsletter from Takamatsu central library



その2

へんろみち  
遍路道を歩いてみませんか？



ねごろじみち  
「根香寺道」

今回は 81 番白峯寺から 82 番根香寺までの「根香寺道」です。これからの紅葉の時期に歩くには最適です。

「根香寺道」は、平成 25 年 10 月 17 日に香川県内の遍路道では最初に国の史跡に指定されました。道沿いには道標・丁石等の石造物が残っています。道標は主に道の分岐点にあり、丁石は白峯寺から根香寺間に、約 109m 間隔で 50 基設置されていたようで、現在も 41 基が確認できます。

根香寺道起点の五十丁には、周防国大島郡棕野村（現山口県周防大島町）出身の中務茂兵衛（1845～1922）が願主となって建てた方柱形の道標があります。茂兵衛は、四国遍路 280 回というとんでもない記録を持ちますが、さらに、現地を確認できるものだけでも道標を 200 基以上建てています。

ここから国分寺から来た道を逆戻りし、十九丁まで進みます。国分寺からの遍路道との三叉路にあたります。石垣で構築されたやや広い平地となっており、地藏菩薩坐像、中務茂兵衛の道標、遍路墓など多数の石造物が見られます。

さらに西に進むと、十四丁付近で県道 180 号に出ると足尾大明神（通称アシバサン）があります。足の神様として信仰を集め、ぞうり等が奉納されています。昔、この付近に根香寺末寺の吉水寺があり、その鎮守社であったと言われています。

県道で遍路道の一部が消滅していますが、再度、遍路道に戻り、根香寺に至ります。空海が弘仁年間（810～824）に花蔵院を創建し五大明王を祀り、円珍が天長 9 年（832）に千手院を創建し千手観音を祀り、この 2 院を総称して根香寺と呼ぶようになったと言われています。本尊の木造千手観音立像は重要文化財に指定されており、33 年に 1 度開帳されます。(0)



紅葉の根香寺



五十丁石（左）と中務茂兵衛の道標（右）



足尾大明神

『心かよわす讃岐の遍路道 国指定史跡 讃岐遍路道 根香寺道』 高松市シルバー人材センター 2014 年 T1869/ ココ

『讃岐遍路道 しろみね道』 香川県 2012 年 T1885/ カカ



※中央図書館 11月の休館日のお知らせ※ 7日、14日、21日、28日、30日



墨文字による年賀状・年賀はがきの書き方を干支について学べる講座です。

日時：11月20日（日）午前10時～正午

会場：サンクリスタル高松3階 第一集会室

講師：穴田 豊久氏（高松市歴史資料館 元館長）

申込：11月9日（水）午前9時30分から電話（087-861-4501）または、中央図書館カウンターにて直接お申込みください。

定員：14名（先着）



サンクリスタル高松 30周年記念コンサート

## Swingin' Wonderland JAZZ Orchestra

香川県を拠点に活動する本格的ジャズオーケストラによるコンサートです。

日時：11月27日（日）午後2時～4時

会場：サンクリスタル高松3階 視聴覚ホール

出演：Swingin' Wonderland JAZZ Orchestra（通称 SWJO）

申込：往復はがきにてお申込みください。【11月8日（火）必着】

・返信はがきに住所・氏名・連絡先をご記入ください。

・1枚のはがきで4名まで申込可能です。

定員：100名（先着）



## 行事報告

高松市図書館ボランティア養成講座

講演会「朔太郎の詩に現れる白色の謎」

10月10日（月・祝）午後1時30分～3時 3階視聴覚ホール



「自分では本を読まなかったが、叔母がよく読んでくれたから言葉が自分の中にあった」というエピソードからはじまった講演会。寺山修司や美輪明宏、谷川俊太郎などの話を交えながら、「言葉が薄っぺらに扱われる時代だからこそ、言葉を見直してほしい」と、楽しくも考えさせられる話でした。

永遠の漂泊者― 萩原朔太郎展

朗読会「猫町を読む」

10月16日（日）午後1時30分～2時 4階企画展示室前ロビー



20分ほどのお話を、図書館司書が朗読しました。遠方から朗読会に合わせて来場いただいた方など、たくさんの方にお越しいただきました。読書の秋にふさわしい充実した時間になりました。

## 展示

香川県内公共図書館連携企画

#つながる図書館

～図書館から元気を届けたい！

元気が出る本～

期間：10月25日（火）～11月13日（日）

場所：2階カウンター横

香川県立図書館をはじめ、県内公共図書館26館が一斉に展示をしています。

今年のテーマは「図書館から元気を届けたい！元気が出る本」。中央図書館を含め、地域各館でも展示をしています。ぜひご覧ください。





# 今月のおすすめ本



10月27日から11月9日は、読書週間です。1947年（昭和22年）「秋・読書週間に、ぜひ、一冊の本を」と第一回が開催されて以降、文化の日を中心に70年以上続いています。今月は、図書館司書4人が特におすすめする本を紹介します。ぜひこの期間に、読書の秋を楽しんでください。

## 『子犬の絵画史 たのしい日本美術』

金子 信久 / 著 講談社 2022年 / 発行 7210 / カネ



犬を題材にした日本画はこれまで多く描かれてきました。円山応挙はリアルに、長沢芦雪はゆるくといったように、その表現法は画家によって様々ですが、共通しているのは「かわいい」と愛でて描かれたということではないでしょうか。この本では中国・朝鮮の絵画を源流に、江戸時代の様々な画家たちが犬をどのように愛で、表現の仕方を模索し、描いたのかを知ることができる1冊です。(K)



## 『きらめく拍手の音 手で話す人々とともに生きる』

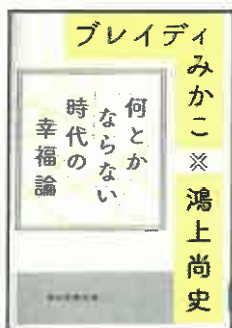
イギル ボラ / 著 リトルモア 2020年 / 発行 3692 / イキ



同タイトルのドキュメンタリー映画の監督で、ろう者の両親から生まれた聞こえる子、CODA（コーダ）である著者が、手語と音量言語、ろう文化と聴文化という、2つの言語、文化の間で生きてきた経験を、家族や周りの人々の証言とともに綴った一冊。どんな状況でも前を向き、目標に向かって進む著者の姿勢に胸を打たれます。(M)

## 『ブレイディみかこ ※ 何とかならない時代の幸福論』

ブレイディみかこ, 鴻上 尚史 / 著 朝日新聞出版 2021年 / 発行 3040 / フレ



「ZOOMの画面上では、どこが上座なのか？」問題は日本だけのもの！？ Twitterで話題になっていない本が本屋ですごく売れている？ コロナ禍で色々なことがままならない今を、インターネットと現実、日本とイギリスを比較しながら、演劇とコミュニケーションという2人の共通の切り口から語る対談集です。(F)

## 『誕生日パーティー』

ユーディット・W・タシュラー / 著 集英社 2021年 / 発行 9437 / タシ



ポル・ポト政権下のカンボジアから逃れ、今はオーストリアで平穏に暮らすキム。しかし彼の50回目の誕生日パーティーに招待されたのは、自分の忌まわしい過去を知るテヴィでした。過去と現在の様子が交互に書かれ、最後にはある真実が明らかになります。当時のカンボジアが、いかに過酷な状況にあったかを知ることできる一冊です。(M)



# 中央図書館 11月行事予定



・・・休館日

日	月	火	水	木	金	土
11/1～11/13 読書感想画・図書館を使った調べる学習コンクール作品展示		1	2 ●ゆりかご おはなし会 10:30～	3 ●3歳 ★子ども読書まつり 10:00～16:00	4	5 ●なかよしかみしばい 14:00～
6	7	8	9	10	11	12 ●おはなしのかけはし 14:00～ ●コットンツリーのへや 10:30～
13	14	15 ●えいごの おはなし会 11:00～	16 ●にこにこ おはなしひろば 16:00～	17 ●わらべうたで あそぼう 10:30～	18	19 ●本さんこんにちは 14:00～
20 ★墨文字講座 10:00～	21	22	23 勤労感謝の日 (17:00閉館)	24	25	26 ●伝々虫の おはなし会 10:00～
27 ●3歳 ★SWJO コンサート 14:00～16:00	28	29	30			

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、イベント等の開催を中止・延期する場合があります。今後の開催予定は、ホームページや館内掲示でご確認ください。

## 音楽の小部屋

### 『HOCHONO HOUSE』 細野 晴臣 33/ホソ

1973年にリリースされた、日本ロック史に残る名盤『HOSONO HOUSE』。松任谷正隆や鈴木茂らティンパンアレーの面々が参加した今も色あせない作品ですが、このアルバムはその名盤を一人でセルフリメイクした意欲作。

バンドサウンドによって評価が確立しているものを、コンピューターによる打ち込みでリメイクする行為を大ベテランの細野晴臣がやることも驚きだが、その仕上がりも現代のポップスとして素晴らしい物になっているのがまた驚く。

リメイクするにあたり曲順を真逆にすることで新鮮な印象を与え、フォーキーなサウンドだった名曲「恋は桃色」をテクノ風にしたり、「終りの季節」を歌のないインストにしたりと趣向を凝らすことで新しい作品として生まれ変わらせている。日本有数のベーシストである細野晴臣のリズムに対するセンスと、独特の味わいがくせになるヴォーカルを堪能してください。(M)



※このコーナーでは、毎月一枚、音楽好きの図書館員より個人的おすすめCDを紹介していきます。

## 視聴覚だより 2階 AV コーナー

### CD 特集「これは恋、愛!？」

『告白ソング』30/コク

『Happy Ending』33/オオ



### DVD

『アメリ』D11/アメ

『恋におちたシェイクスピア コレクターズエディション』

D11/コイ

『ローマの休日 製作50周年デジタル・ニューマスター版』

D11/ロマ

### <ピックアップ作品>

### DVD

『アンという名の少女 SEASON 1-1』  
D11/アン

L.M. モンゴメリの不朽の名作「赤毛のアン」を現代風にアレンジして映像化。時は19世紀後半のカナダ。元気な少女アン・シャーリーが、プリンス・エドワード島で様々な経験を重ねて成長していきます。